

蓄熱式電気暖房器「アルディ」施工上の留意事項

1. 据付場所について

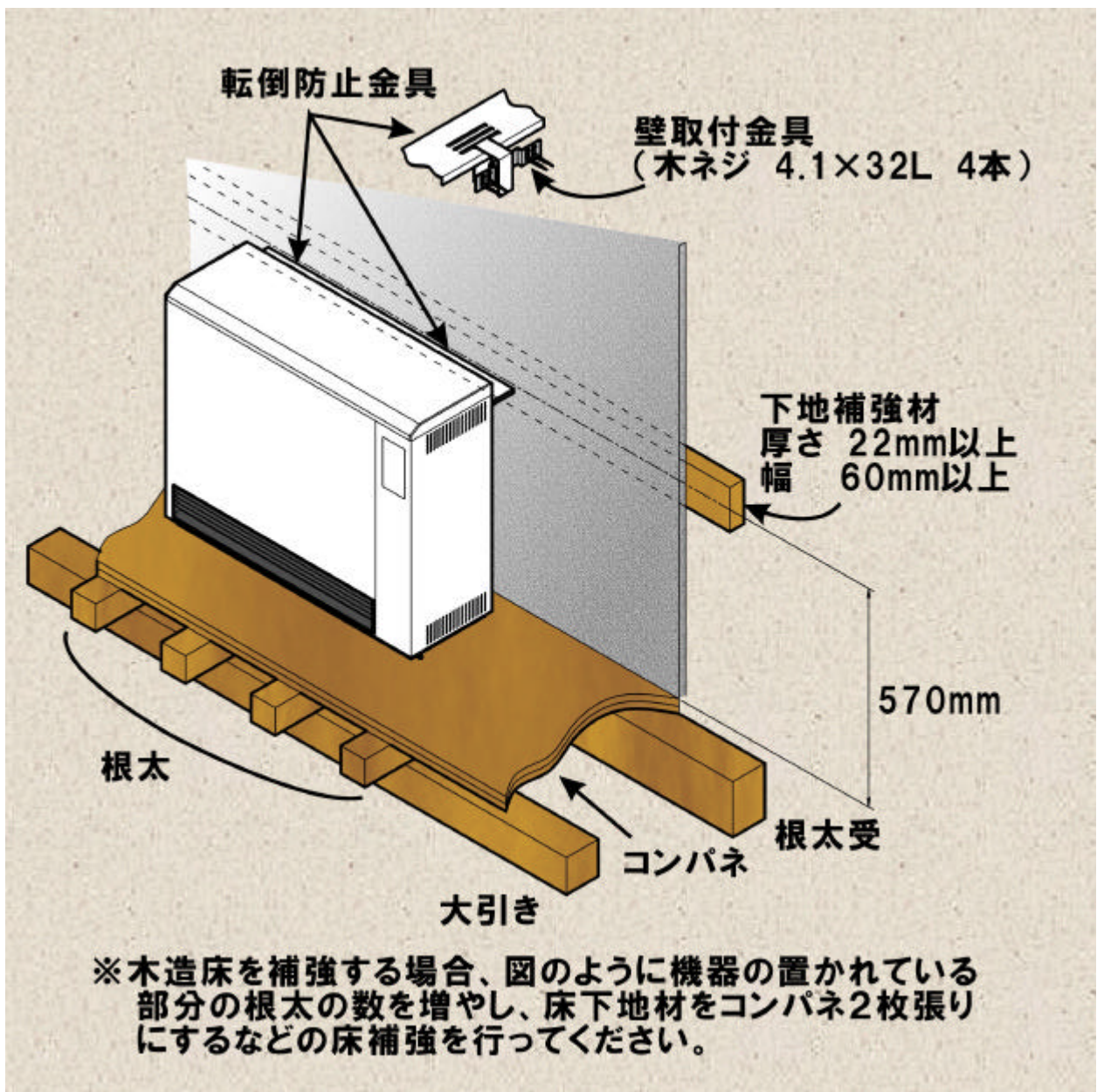
(1) 耐震対策

蓄熱式電気暖房器「アルディ」は転倒防止のため、付属の転倒防止金具で壁面に必ず固定してください。

(2) 床等の補強

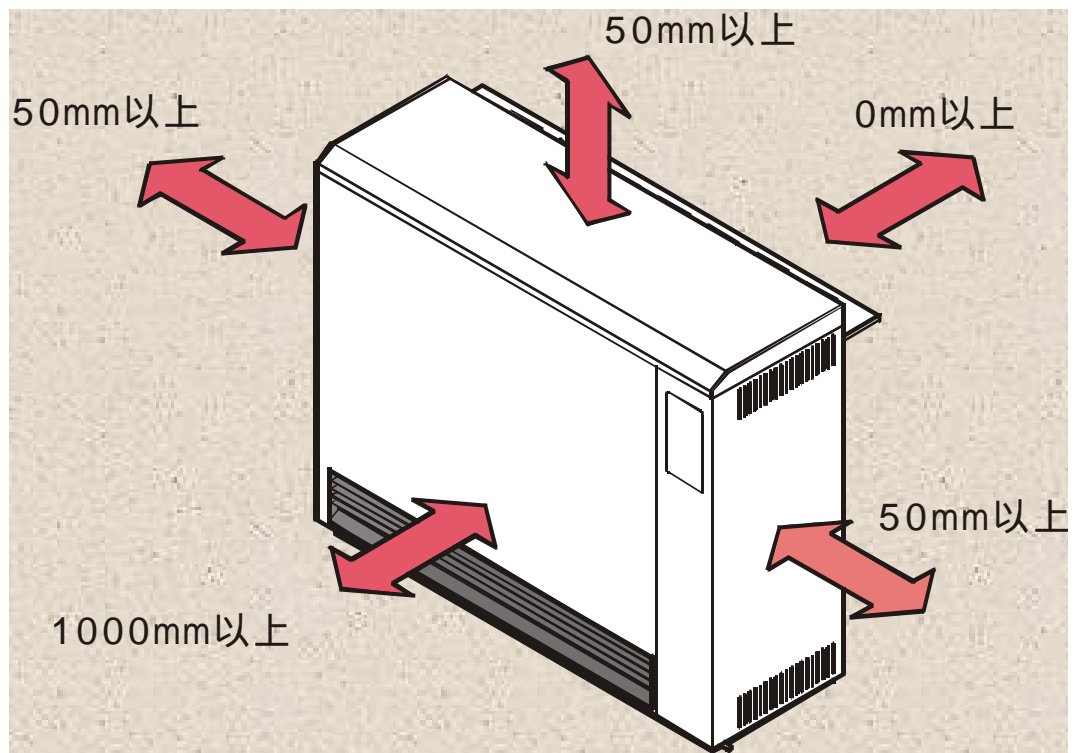
蓄熱式電気暖房器「アルディ」は蓄熱体に特殊レンガを使用しているためかなりの重量があります。(65kg ~ 384kg) したがって、機種によって設置場所の床の補強が必要となります。壁面は耐震金具が取付けられるように下地補強をしてください。

和室に設置される場合は、板だたみにされるようお勧めします。



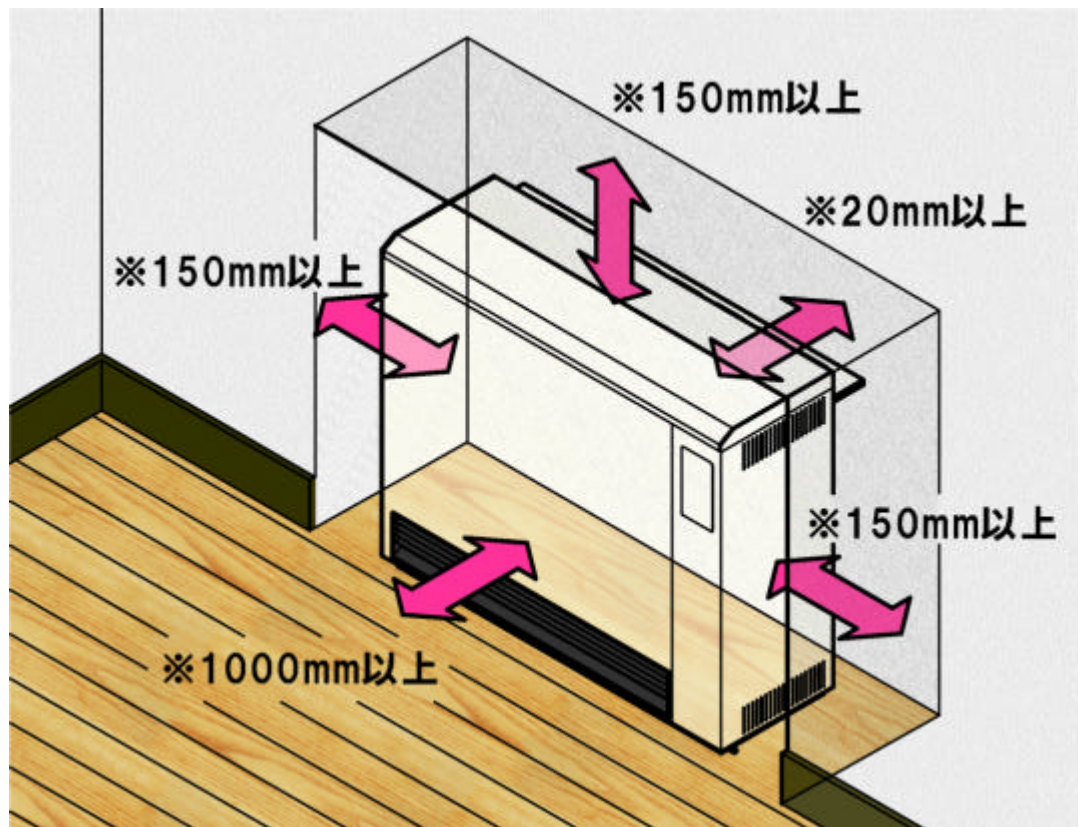
(3) 本体周囲の離隔距離

本体の表面は高温になりますので十分な離隔距離をとって設置してください。



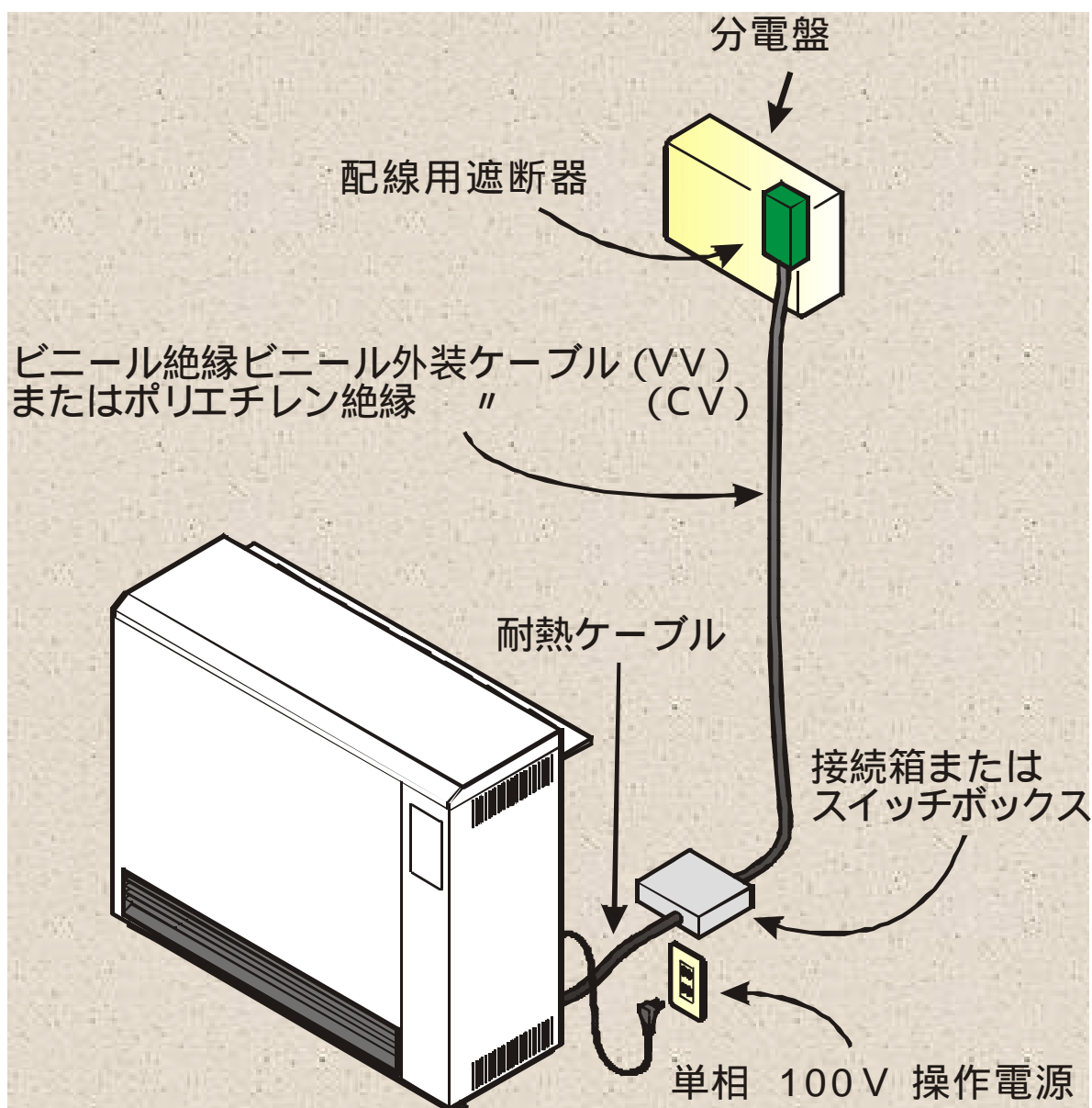
壁組込みへの設置

壁などに埋め込んで設置する場合は、上部・左右側 / 150mm以上、後方 / 20mm 以上あけてください。



2. 電気配線について

- (1) ヒーター用電源は単相 200V、操作盤およびファン用の電源は単相 100V を使用いたします。
- (2) 蓄熱式電気暖房器「アルディ」の単相 200V 電源引込口は、機器本体に向かって右側裏面にあります。建物側の電源については、アルディ本体の裏面に隠れる位置に準備してください。
- (3) 操作盤およびファン用の電源単相 100V は、本体右側でプラグが着脱可能な場所にコンセントを設けてください。
- (4) タイムコントローラー・タイムスイッチの容量は、蓄熱式電気暖房器の容量以上のものを付けてください。
(RDM 型および RDN 型のみ)
- (5) 配線用遮断器は下表に従って容量を決めてください。
- (6) 建物側の電源ケーブルとアルディ電源ケーブルとの接続は、圧着スリーブ等で直結してください。
ヒーター用電源の接続は電気工事士の資格を持った人でないと工事ができません。(電気工事士法第 2 条第 3 項、同施行令第 1 条二)
- (7) アルディ付属の電源ケーブルは、最高許容温度 75 以上の耐熱ケーブルを使用しています。



ヒーター用電源の配線用遮断器定格および電線の太さ

機器の容量		配線用遮断器の	分岐回路の最小	分岐回路の最小
RDF/M 型	RDN 型	定格電流 (A)	電線太さ (VV ケーブル)	電線太さ (CV ケーブル)
RDF (M) - 2000	RDN-1410	15・20	1.6mm	2.0m m ²
	RDN-2110			
RDF (M) - 3000	RDN-2810	20	1.6mm	2.0m m ²
RDF (M) - 4000	-	30	5.5m m ²	3.5m m ²
RDF (M) - 5000	-	40	8.0m m ²	5.5m m ²
RDF (M) - 6000	-			
RDF (M) - 7000	-	50	14m m ²	8.0m m ²